



入れ歯の役割は、虫歯や歯周病で失った歯の代わりに食べることをサポートすることです。入れ歯は取り外しができる人工の歯で、失った歯の一部をカバーする「部分入れ歯」と、失った歯のすべてをカバーする「総入れ歯」に分けられます。



また、歯がないと硬いものが食べにくくなり、軟らかいものを好んで食べる事となり、次第に噛む機能が低下します。この状態を放置すると健康を維持する為に必要な栄養素が不足し、病気に陥る「オーラルフレイル」のリスクが高まります。入れ歯の必要性は失った歯や歯茎を回復し、食べ物を噛んで飲み込むという咀嚼機能を改善することにあります。

歯を失うと言葉がはっきりと発音できなくなりコミュニケーションをとることが難しくなります。また、見栄えが悪くなり人と会うのを避けたり、ふさぎ込んだりすることもあります。つまり、歯を失うことは、外での生活を控え社会性が低下することや、健康を妨げることの要因の一つであると考えます。



入れ歯の役割

- ① 噛む機能の回復
- ② 発音機能の回復
- ③ 見た目〈審美性〉

※**オーラルフレイル**とは、口の機能が衰え、話にくい飲み込みにくい等、口の周りや舌の筋力が低下することです。

〈クリニックからのお知らせ〉

入れ歯の不具合や歯の痛みなどがありましたら気軽にご相談ください

